

AWS Jam の操作方法



言語設定

画面の左下から設定できます。

機会翻訳の内容がわかりづらい場合、英語に切り替えて原文を確認してみてください。



日本語 (Japanese)

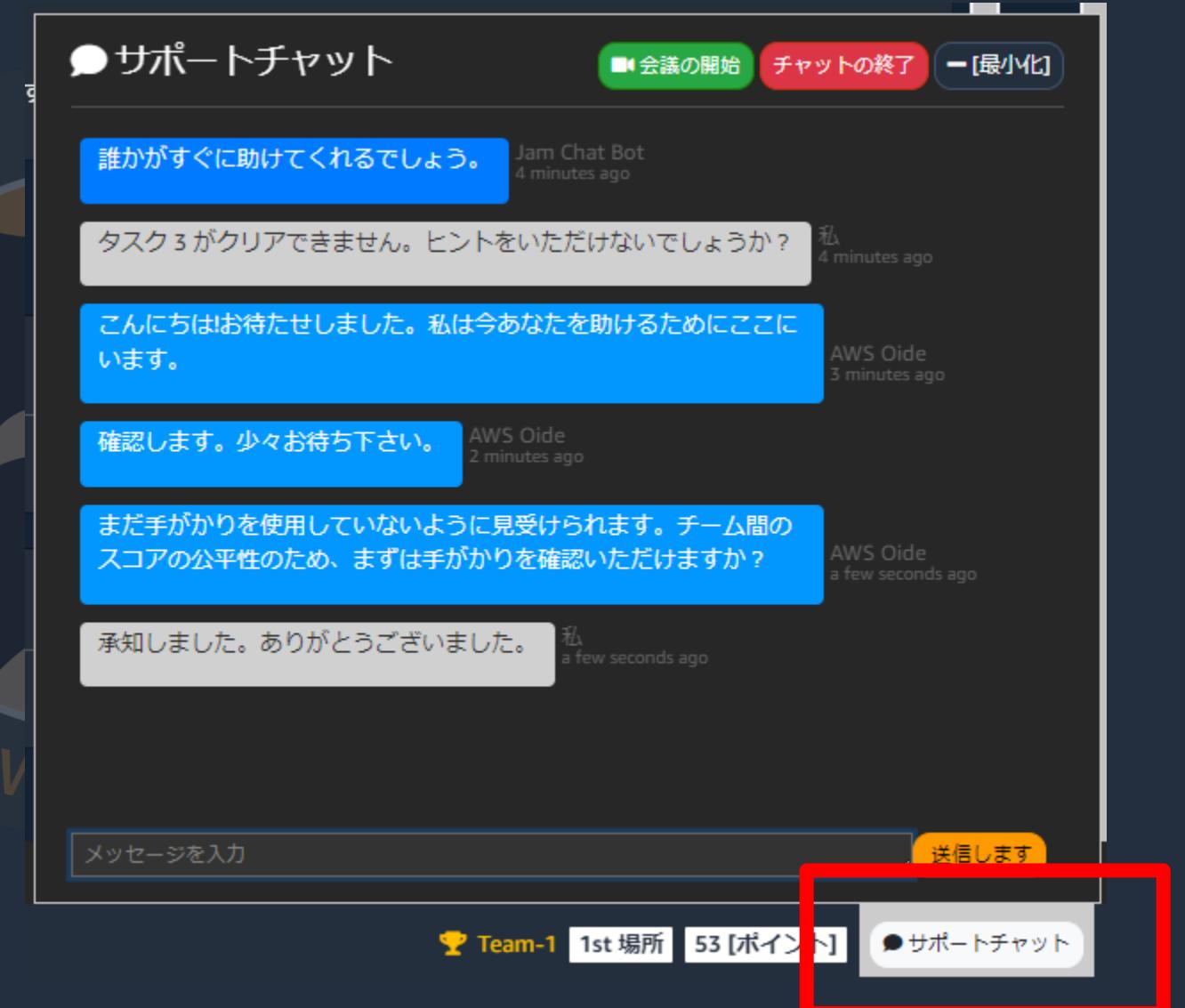
残り時間: 04:21:43

サポートチャット

画面の右下から講師に連絡できます

課題のヒントはお出しできないので、
トラブル発生時の連絡などでご利用
ください

※ なお、チャット開始時に妙にフランクな自動応答が行われます。ご容赦ください



ダッシュボード(リーダーボード)

aws AWS JAM ▾ DASHBOARD

「ダッシュボード」タブを選択

Leaderboard

Rank	Team	# Completed	Score	Max Score
1st	🏆 Sev 1	2	416	4898
2nd	🏆 We be jammin	2	354	4855
3rd	🏆 We're Doing It Wrong	1	270	4990
4th	Route53 Road Trip	1	200	4955
5th	{} => {}	2	196	5000
6th	{ DROP ALL TABLES; }	1	120	4992
7th	Secure By Nature	リーダーボードでは、現在のチームの得点や進捗状況を確認できます		
8th	{ VPCUL8TER }			

メッセージ

AWS ジャム - アーキテクチャ設計 (テスト) ▾ ダッシュボード 課題 チーム フィードバック メッセージ 会議 ファシリテーター

チャットリクエスト待ちキュー
現時点ではチャットリクエストはありません。

メッセージ
現時点ではメッセージはありません。

時たま講師からメッセージが届きます
(残り時間の連絡など) 例 →

通知
キリのいいタイミングでお昼休憩に入ってください～！

ランクなし 0 [ポイント] ● ファシリテーターとチャット?

チャレンジの進め方(1/5)

AWS ジャム—アーキテクチャ設計 (テスト) ▾ ダッシュボード 課題 チーム フィードバック メッセージ 会議 ファシリテーター

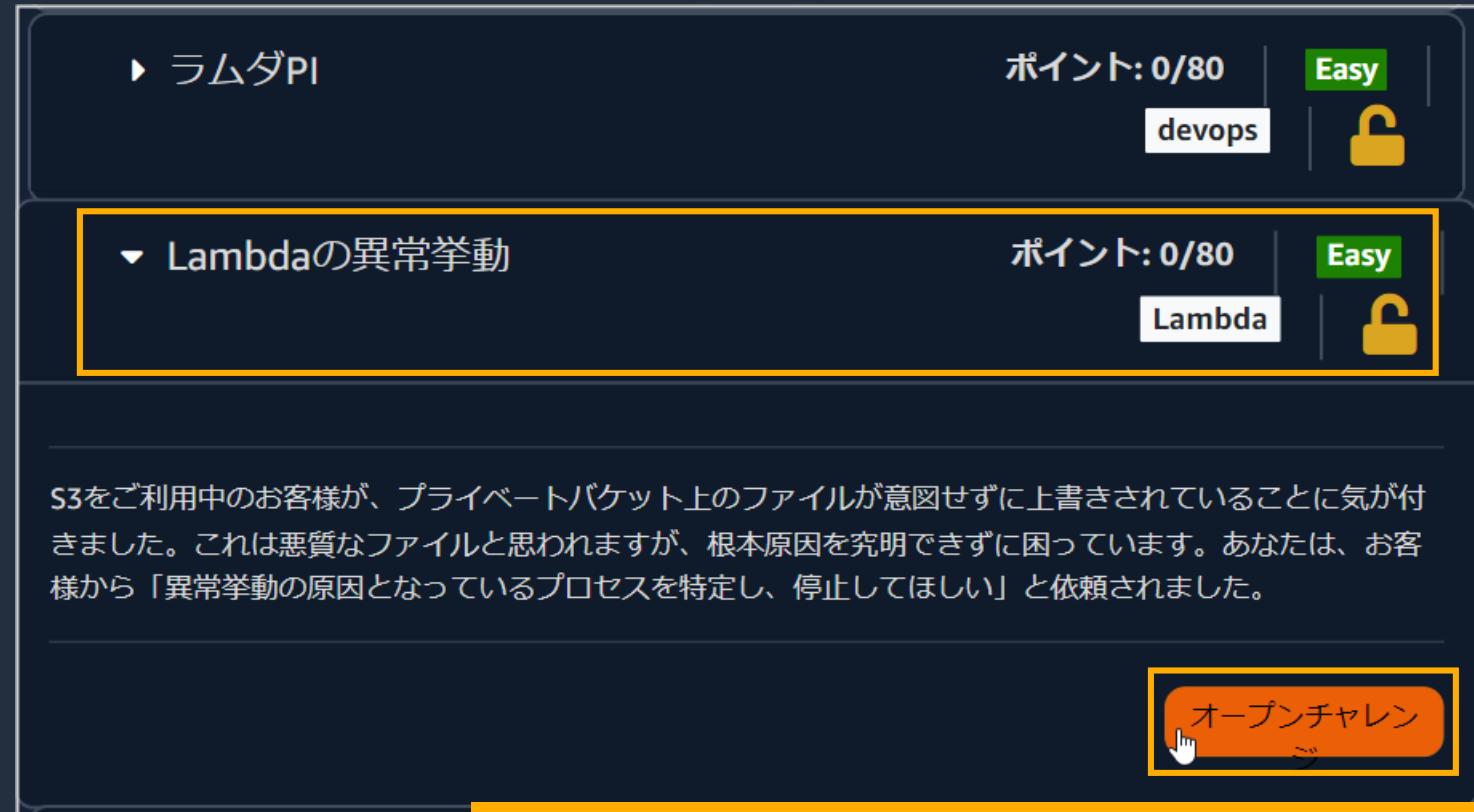
課題

未解決 12

- ▶ キューで待っています！ [JP] ポイント: 0/80 | Easy | SQS |
- ▶ 行方不明のフロントエンド [JP] ポイント: 0/80 | Easy | サーバレス |
- ▶ Boobytrapped インフラストラクチャ [JP] ポイント: 0/80 | Easy | Security |
- 各チャレンジに挑戦できます。
※ 研修で扱っていないサービスや機能を触るチャレンジも含まれています
- ▶ ポイント: 0/80 | Easy | Security |
- ▶ ポイント: 0/80 | Easy | RDS |

© 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

チャレンジの進め方(2/5)



チャレンジを選択して「オープンチャレンジ」を押すと
チャレンジの詳細画面が表示されます

チャレンジの進め方(3/5)

[S3] バケットリストからアイテムをノックする

チャレンジを開始

チャレンジの詳細

タスク 1

タスク 2 

あなたは最近、セキュリティ監査に合格するための準備を行っており、AWS Lambda関数とAmazon S3バケットを頻繁に使用することになりました。このチャレンジでは、組織のクラウド環境内のすべてのシステムにわたってログファイルを収集する問題に対処するPOC（概念実証）の作成をあなたに任せました。また、ログの保持と自動化を念頭に置いてほしいと望んでいます。タスクの目的は、サンプルログをクラウド全体でS3バケットに集める機能的なソリューションと、古いログを自動的に別のストレージクラスに移行する後続の保持ポリシーを作成することです。

このチャレンジでは、ログ保持ポリシーを作成する方法と、S3ストレージライフサイクルを管理する方法について説明します。

チャレンジの進捗状況

タスク	ステータス	可能なポイント	手掛けたり除外ポイント	合計獲得額
タスク 1: ログファイルを	× 未解決	16	0	--



チャレンジの進め方(4/5)

概要

..  現在、私たちはあなたのチームのための新しい環境を準備しています。お客様の環境の準備が整つたら、お知らせします。

キューリ位置: 1st の 1 待っています 入力済みキュー: 2 minutes ago 残りの待機時間: 9 分

S3をご利用中のお客様が、プライベートバケット上のファイルが意図せずに上書きされていることに気が付きました。これは悪質なファイルと思われますが、根本原因を究明できずに困っています。あなたは、お客様から「異常挙動の原因となっているプロセスを特定し、停止してほしい」と依頼されました。

複数のチャレンジを同時にオープンできるので、イベント開始時に一通り「チャレンジを開始」して環境を起動しておくのがおすすめ！

チャレンジの進め方(5/5)

キューで待っています！ [JP]

ラボ環境へのログイン

タスクを順にこなしていきます

① を使用して課題を解決:

aws コンソール

AWS CLI



概要

背景

あなたは電子商取引のスタートアップ企業を経営していて、さまざまな役職を兼任しています。AWS でサーバーレスコンピューティングを使い始めているのですが、大規模な投資家向けミーティングの直前に、同僚の 1 人が誤った変更を加えてしまい、ミーティング中にデモする予定だったイベント処理システムが誤動作していることに気づきました。あなたはクラウド開発で問題を解決し、製品のデモを含むミーティングの準備をする必要があります。挑戦する時間はあと 3 時間です。

作成済みリソース情報を確認できます

アカウント ID & リージョン

ステータス	可能なポイント	手掛けられた除ポイント	合計獲得額
-------	---------	-------------	-------

スクリプト未解決 26 0 --

環境の残り時間

ステータス: 未解決

スコア: 0 の 80

AWS アカウント: 387713652442 US West (Oregon)

ラボの有効期限: 03:58:54

[カテゴリ]: SQS

チャレンジのチャレンジの回答方法

1. 【進捗状況を確認する】ボタンを押下

進捗状況を確認する

「進捗状況を確認する」を押すと、
条件を満たしているかを手動確認できる

もしくは

条件を満たしてしばらく経てば
自動でチェックされる

2. テキストを入力する

可能なポイント: 80 手掛けられペナルティ: 0 利用可能なポイント: 80

ここに回答を入力してください

回答を送信

成功するまで何度も送信できる
※スペースが入っていないなど注意！

Clue (手がかり)

ペナルティ（減点）と引換にヒントを得られます！

順位を競うことが目的ではないので、あまり気にしないでOKです

ただ、手がかりを使いすぎると学びが少なくなるので、ご利用は計画的に

The screenshot shows a user interface for the 'Clue' feature. At the top, it says '手がかり' (Clue). Below that, there are three separate sections, each containing a clue and its associated penalty:

- 手がかり 1: イベント履歴** (Event History) - **ペナルティ: 8 ポイント** (Penalty: 8 Points)
Buttons: **手がかりを解除** (Remove Clue), **[表示]** (Show)
- 手がかり 2: フィルターが役に立つかもしれない** (The filter might be useful) - **ペナルティ: 10 ポイント** (Penalty: 10 Points)
Buttons: **手がかりを解除** (Remove Clue), **[表示]** (Show)
- 手がかり 3: たくさんのイベントがありますが、どれですか？** (There are many events, which one is it?) - **ペナルティ: 12 ポイント** (Penalty: 12 Points)
Buttons: **手がかりを解除** (Remove Clue), **[表示]** (Show)

チャレンジクリア後のフィードバック

フィードバックにご協力ください

今後の Jam チャレンジ選定で利用されるスコアになるため、チャレンジに問題なければ星 4~5 で付けていただけます（フリーコメントは空でも OK です）

※ 機械翻訳の精度は除いて評価いただけます

チャレンジ: [S3] バケットリストからアイテムをノックする

このチャレンジをどのように評価しますか？



この課題はどれくらい困難でしたか？



何か新しいことを学びましたか？

はい いいえ

その他のフィードバックやコメント:

フィードバックを送信

AWS Jam の取り組み方



今回の AWS Jam の取り組み方

- ・個人作業ではなく、チーム単位でチャレンジに取り組みましょう！
 - 同時に取り組めるチャレンジは「1つ」とします。
 - ※ 行き詰った時にチャレンジを中断し別のチャレンジに取り組んだり、あらかじめ複数のチャレンジをオープンしておくのは OK め
- ・皆さんにお持ちの知識/経験/アイデアをチーム内で共有しましょう！
 - ⇒モブワークについて手法を紹介します。

モブワークの役割

- モブワーク (*)

- ドライバー (1人) … 画面を共有して、実際に AWS 環境を操作する役
- ナビゲーター (2-3人) … 共有された画面を見ながら、指示やサポートを出す役
- ドライバーはチャレンジ毎にローテーションしてください（チャレンジ途中の交代は NG）
- 最初のドライバーは初学者がオススメ



モブワークによる効果

- ・ ドライバーは理解が曖昧な部分を自然とナビゲーターに質問できる
 - 例) スミマセン、今の指示の AAA って、そもそもどういう機能でしたっけ…?
- ・ ナビゲーターは自分の知識や経験を自然と共有できる
 - 例) あ、ドライバーさん。その部分は右上のメニューから選択していくと乐ですよ
- ・ 正解にたどり着くまでの道筋や思考の過程を共有できる
 - 例) どんなキーワードで検索しているか
 - 例) どんな順序や観点でトラブルシューティングを行うか

モブワークの進め方

- 上手く進めるコツ

- ドライバーが操作するときは「これから何をするのか」「何をしているのか」を声に出して常にナビゲーターへ伝えよう
- 作業の説明や指示は、どんな意図なのかまで伝えよう
- お互いわからないことがあれば気軽に質問しよう
- チャレンジが成功したら「やったー👏」とみんなで喜び合おう！

- チーム内で自由に決めてOK

- 休憩のタイミング、取り組むチャレンジの順番、ドライバーの順番、ヒントを使うタイミング
- ドキュメントの調査は全員でする or ナビゲーターがする or ドライバーがする
- 指示の粒度